

# 茨城県生協連ニュース 臨時号 No.38

## 茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年10月30日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

常総地域の被害被災者支援に関しまして、コモンズ代表理事の横田さんから、以下のお願いがありました。  
同じ茨城県民として、ぜひ可能なかたちでのご支援、ご協力をいただければ幸いです。間際のご案内になっておりますが、よろしくお願い致します。

### 「常総市の現況と今後できることを知り、実際に体験する活動説明会」、参加者募集中！

いつも大変お世話になります。9月10日に発生した常総市内の鬼怒川等の洪水被害から6週間となりますが、依然として大変厳しい状況が続いています。当会は、現地の事務所が水没しましたが、その場を拠点にたすけあいセンター「JUNTOS」を立ち上げ、県外からのご支援を受けながら活動中です。

今回の水害では市内の東部のほぼ全域が浸水し、戸建てだけでも床上浸水は2,700戸。多くの家が1階の家財と車を失い、一部の住宅では床や壁の張り替え工事が進んではいますが、工事の見通しが立たず、風呂や炊事場、水が使えない家の2階で避難生活を強いられている方の疲労が溜まっています。

農地に残るゴミをどのように取り除くか、個人事業者の事業再建をどうするか、避難所が閉鎖される際に家がない人の行き先をどうするのか、半壊世帯への救済策をどのように具体化するかなど、課題が山積しています。

常総市内で暮らす人はまだ自宅の片づけや各種手続きに追われ、活動ができる余裕がなく、多くの集会施設が使えない中で、自治会も以前のように動けません。常総市民の生活再建、住宅や地域経済の再建には、周辺地域からの継続的な支援がどうしても必要な状況です。

一方で、災害直後から市内に入り、泥かきや避難所の支援にあたってきた県外の支援団体が、この地を離れる時期を迎えようとしています。ついては、定期的な炊き出しや茶話会の開催、被災者対象の物資や情報の提供、家や農地の修復支援、移動サービスの運転協力、活動への募金活動など、これまで進めてきました支援活動を地元の個人や団体が担っていきたくと考えています。下記のとおり、現地での活動説明会を開催していきます。

間際で誠に恐縮ですが、可能な部分だけでもご参加いただきたく、お願い申し上げます。

#### ◆ 名称: 常総市の現況と今後できることを知り、実際に体験する活動説明会

◆ 会場: 常総市水海道森下町 4346-3 たすけあいセンター「JUNTOS」とその周辺地域

◆ 第1回 10月31日(土) 11:00~12:30 (被災地支援とは)

被災地の現況と、NPOの様々な支援活動の説明。避難所支援、移動支援、情報支援など。

13:30~15:00 JUNTOS 周辺住宅への情報紙配布や活動見学

◆ 第2回 11月1日(日) 11:00~12:00 (住宅再建支援とは)

浸水被害を受けた住宅の片づけ、床下の泥かきや家の修復に関する支援活動の紹介

13:00~15:00

住宅での床上げや泥かき、家の清掃に関する活動の実習

◆ 第3回 11月3日(火)

11:00～12:00 (コミュニティづくりとは)

在宅避難者の状況、孤立を防ぎ、声を出せる場づくりとしての炊出しやサロン活動の紹介

13:00～18:00 炊き出し、サロンの準備から運営まで関わっていただきます

ご参加いただける場合は、伝達事項がありますので、必ず下記までご一報ください。

たすけあいセンター「JUNTOS」

☎:090-6568-9930(代表)、0297-44-4281 FAX:0297-44-4291

<お問い合わせ>茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・鈴木・原)TEL 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mail**[ibkenren@ibaraki-kenren.coop](mailto:ibkenren@ibaraki-kenren.coop)**

以上